

引はりませんけど?



プレゼントなんてありませんけど?

しんぶん

受験生にクリスマスがあると思ってるのか?

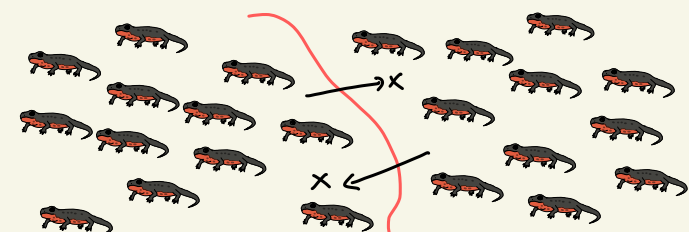
発行日：2022年 12月 20日

発行：朝日塾中等教育学校 理科

アカハライモリの地域性2

前はイモリの地域性について、5つの遺伝集団があるという話をしました。今回のイモリしんぶんでは、どのように集団が分かれるのかをお話ししようと思います。

①地理的な隔離が起こる

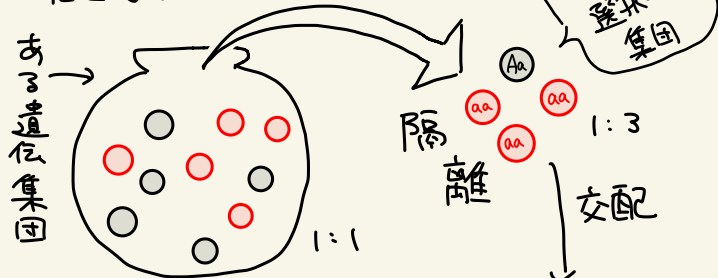


イモリめっちゃいるん...

何らかの地理的隔離

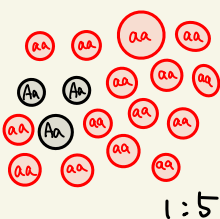
②長い年月が経つと、集団内での遺伝子頻度の変動(遺伝的浮動)がおこる。

たとえば...



もともとは○と●の割合が均一な集団でも...

隔離された集団における対立遺伝子の頻度が変化する



もとの集団とは異なる遺伝集団になるねんた

ここ授業で扱うのすげー好き

③生殖的隔離が起こる。(求愛行動の時期や様式の変化)

求愛を受け入れて
いただきたいのですが...?

うちの地域は
合ってます



*このときはまだ交配が可能ですが、遺伝的な性質が大きく異なる場合があります。

④交配が出来なくなる(新たな種の確立)

あわ...
だれ...?



オキナワ
シリケンイモリ

シリケンイモリ
ですけど...?

*この図↑はあくまで例であり、事実とは異なり得る

*種が異なると交配し子孫を残すことができなくなります。

*↑もう少し説明すると、別種間での交配は可能ではあるが、生まれた子に稔性(子をつくる能力)は等しく存在しない。

例) レオポン、ライガーなど

進化っていうのは
見えない変化(対立遺伝子頻度の変化)から
見える変化(見た目や行動などの変化)へと
進んでいくんやね〜(これは集団内で起こる)

今日のイモリしんぶんは授業、ほい

今回は冬休み明けの発行です

次回 イモリ研究最先端